

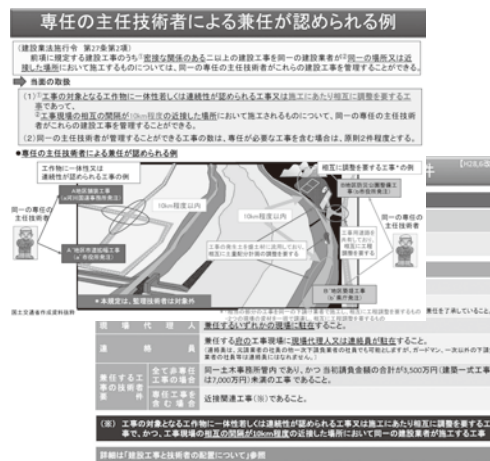


奥野弘佳議員

Q 入札制度の総合評価方式の導入は

A 有効な方法と認識している

Q 府内の総合評価方式の導入状況は。
A 試行導入は9市町で、実施は舞鶴市と宇治市の2市である。
Q 宇治市では、工事成績が一定水準以上の優良業者を対象に入札を実施している。優良業者を目指し、品質向上につながっていると思うが、見解は。
A 品質確保や施工意欲向上に有効となるものか、他の自治体を含め研究していく。
災害復旧工事
Q 手持制限の見直しは。
A 手持工事として力
Q 見直し時期は。
A 周知期間をもって見直ししていきたい。
Q 災害復旧協定業者に入札を。
A 現状では業者間の公平性が保たれない。
技術者の兼任
Q 複数現場への配置を見直す考えは。
A 令和3年度を目途に複数現場の兼任を実施する。
Q 兼任の条件は。
A ガイドラインを明文化し、実効性のある内容に見直す。



府の入札ガイドライン
(検査住宅課より)

Q ドン・キホーテ UNYで、どう変わる？

A 地元説明会は11月に予定



松田孝枝議員

Q アピタ精華台店のリニューアル後について地元関係者や利用者は、注目し様々な意見がある。①業務内容の変更②地元への説明会③本町の意見具申は。
A ①店舗配置と建物外観の変更、営業時間の延長を予定。隣接商業施設立地時の地元意見への配慮を求めた②8月に関係地元自治会役員に説明。府への届け出は9月中。説明会は11月に予定③隣接自治会、防犯、生活環境に関する団体で検討委員会を構成。その提言を踏まえて府に提出する予定。
コロナ禍「子どものこころ」支援を
Q 学習の大前提になる「こころのケア」についての支援のあり方は。
A 再開後の6月1日には全員出席。その後の欠席児童の状況を把握。行事は今後、心に残る取り組みを検討。
水道料金の免除は拡大し、値上げはするな
Q 水道料金基本料免除の拡大と、料金値上げはすべきではない。
A 拡大はできない。値上げは情勢を見極め慎重に検討する。



MEGAドン・キホーテUNY西大和店



山本清悟議員

Q 児童生徒数が減少、小・中の効率的運用を

A 総合的にみて、適切な形態を研究する



小中併設の研究校対象校

Q 生徒児童数が減少、小・中併設校の設置は。
A 検討対象は、山田荘小と精華南中と考える。今後の児童生徒数、施設状況、コスト、教育効果などを総合的に、適切な形態を研究する。
空き教室の利用を
Q 空き教室の増加に合わせて有効利用を。
A 少人数学級編成や少人数指導、個別のカウンセリングや学習指導、学童保育の活用などを想定している。
Q 児童生徒の自由研究に空き教室利用を。
A 学校活動の一環で、
早期発見が大事
Q いじめ防止の課題に対する取り組みは。
A 児童生徒の自己有用感を高める活動設定、教員の人権意識高揚ときめ細かい実態把握、専門人材・機関との連携強化と組織的対応をする。
Q いじめをなくすために幅広い対策を。
A 早期発見が大事で、そのためアンケートと聞き取り調査を年2回から3回実施。いじめを発見したら、組織的に情報共有化して対応することが基本である。

Q コロナ後をみすえた対応を

A 共感するが、制約がある



佐々木雅彦議員

Q PCR検査を高リスク者へ拡大し、社会活動の円滑化を求める。
A 府に検査体制の充実を求めている。
Q コロナ後の公共を見直すべきだ①住民に引き合える行政職員の確保②災害時対応ができるように、中学校給食の直営を提案する。
A ①共感するが、財政的な制約がある②人材確保が大変なので、民間委託をしたい。
地元産業を守る
Q コロナ禍での産業の実態とあり方は。
A 倒産・廃業はない。減収は多く、融資額も増加している。農業への影響は少ない。
歩行者踏切を急げ
Q 鉄道を挟んだ東西交通の円滑化のために①歩行者踏切の設置を急ぐこと②長すぎるJRの遮断機稼働時間短縮の見直し③2車線通行ができる道路拡幅の計画は。
A ①鉄道会社との協議が難航している②JRの基準に満たず、時間短縮工事の検討対象となっていない③5か所設計あり、協議中だ。僧坊前川線以外は勝手道閉鎖・用地確保などで難航している。



改善されない東西交通踏切

菅井・植田 区画整理事業の進捗は

A 賛同約9割で業務代行者を募集した



森元 茂議員

Q 現在までの賛同者割合と進捗は。
A 事業に賛同者は、今年2月の地権者割合で91・6％、面積割合で92・2％と、目標である9割を超えたので、令和2年4月に業務代行予定者の募集に2社から応募があり、本年7月22日に事業提案を受け、8月7日に業務代行予定者を選定された。

Q 今後の工程内容は。
A 10月に基本協定の締結を行い、業務代行予定者の豊かな経験やノウハウを借りて、令和3年度の組合設立を



菅井西・植田南地区の開発予定地区

目標にする。設立認可や事業認可に必要な本同意の取得や、公共施設管理者や関係機関と協議を推進する予定。
Q 市街化調整地域の扱い
A 都市計画法第34条第11号（みなし市街化地域）の本町の実態は、北稻八間、南稻八間、植田、中・東・西北・祝園の市街化調整地域で、計36・8haある。

Q 都市計画税は。
A 対象外である。

Q 市街化に編入する考えは。
A 見直しの対象にはなっていない。



山下芳一議員

Q 働き方改革が推進される中、新型コロナウイルス感染症対策等で教職員を含む地方公務員の心身の負担は増している。働き方改革と学校支援について問う。町長のコメントメントは。
A 組織トップの率先が重要と認識。長時間労働は正等に、町組織を挙げて取組を推進。

Q 働き方改革推進は。企業・事業所などへの周知啓発に取り組み、役場が先導的役割を果たすように努める。
Q 感染症対策で養護教諭の負担が増しているとの認識はあるか。
A 負担が増している

Q 認識している。保健主事が協力して対応している。消毒は全職員で協力している。
Q 町単費で一・二年生補助を全学級に付けている。二年生補助は二学期以降に削減されるが一年生補助と同様に勤務できないのか。
A 財政的に大変困難。

役場の働き方改革でのダイバーシティ推進状況は

A 数値目標を設定して取組を進めている



命と健康を守る働き方改革推進！
(厚労省HPより)

Q 組織トップの率先が重要と認識。長時間労働は正等に、町組織を挙げて取組を推進。
Q 役場での障がい者雇用推進の進捗状況は。
A 法定雇用率達成に向けて必要条件を整備し、障がい者が活躍しやすい職場づくりに取り組む。

Q 働き方改革推進は。企業・事業所などへの周知啓発に取り組み、役場が先導的役割を果たすように努める。
Q 感染症対策で養護教諭の負担が増しているとの認識はあるか。
A 負担が増している

せいか365の活動成果を検証するため健幸クラウドシステムの活用を

A 費用対効果等について評価をする必要がある



今方晴美議員

Q 効果的な健康づくり事業を行うために多くの町民の健康度を総合的に把握し、科学的根拠に基づいた健康施策を展開するべきである。健幸クラウドシステムの活用を提案する。
A 導入市町の実態把握をし、研究する。
Q せいか365プロジェクトの拡充策は。
A 計画的なセミナー開催などにより、協働の仕組みの拡充を図る。
Q 健康ポイント事業で登録者増の取組みは。
A 子育て世代の取り組み強化と地域での体操の居場所を活用し、



体操の居場所でも健康づくり
(健康推進課より)

今年度末3千人の登録を目指す。
Q 健康ポイント事業の魅力を高めるため、対象事業やインセンティブの取り組み強化を。
A 体操の居場所ポイント付与できるか検討する。健康ポイントとセイカ歩数計アプリ連携事業の周知強化、協賛店に啓発、協力依頼する。
Q せいか365の活動が、町民の健康づくりに寄与できているか意見等を聞き、検証するべきである。
A アンケート調査を継続する。

地区集会所建替えの減免要綱の見直しは

A 10年が経つので見直しが必要と考えている



青木 敏議員

Q 山田集会所の改築には減免要綱の適用がない。自治会に説明の上で適用しなかったか。
A 300世帯以下は、建築面積132㎡の制限がある。現行の広さを希望すると減免がなく、負担が建築費の2分の1（約3千万円）になると説明。自治会内で調整され2分の1の負担を決定された。
Q 減免の適用は公平か
A 北稻八間は150㎡、山田と同じ132㎡超なのに建築費の2分の1負担でなく、減免された1千万円の負担で済むのか。

Q 3月議会では提案された。改めて詳細を説明する準備をしている。建替え費用は自治会が負担するのか
A 分担金徴収条例の受益者は「地区住民」であり自治会の記載はどこにもない。災害時には一時避難所となる。自治会員だけが建替え費用を負担するのか。
A 条例上に自治会はないが、条例作成時点で自治会加入率の問題は大きくなく、基本的に自治会という認識であったと推察している。この件は、大きな課題提起だと考えている。

地区集会所建替工事費（減免10年）			
地区	建築費	減免額	負担額
山田集会所	2,500,000円	1,500,000円	1,000,000円
北稻八間集会所	1,500,000円	1,000,000円	500,000円
南稻八間集会所	1,500,000円	1,000,000円	500,000円
中・東・西集会所	1,500,000円	1,000,000円	500,000円
祝園集会所	1,500,000円	1,000,000円	500,000円
計	10,000,000円	7,000,000円	3,000,000円

減免要綱の適用は適切ですか

Q コロナ終息後の 財政的展望は

A 短期的には極めて厳しい状況も覚悟



岡本 篤議員

Q 学研都市の優位性を生かしてまちづくりを進めれば、難局も脱出できると考えるが財政的展望は。

A 経済は戦後最悪の事態であるが、中長期的展望を持つことは許されると確信する。

Q 学研南田辺・狛田地区で財政的にどの程度の展望を持てるのか。

A 短期的には増収効果は見えにくい、大いに期待している。

Q つくば市は財政的自立を達成しているが、本町は、約7割である。達成するには何が必要と考えるのか。

A 短期的には増収効果は見えにくい、大いに期待している。

Q つくば市の調査を踏まえ、国や府の支援を求めること。学研狛田東・西地区でどれほど産業集積が図れるか、京阪奈新線の新祝園ルートの新たな沿線開発による人口定着が図れるか、都市計画上の人口フレーム5万人の見直し等が考えられる。

Q 目指すべき姿を明らかにするため、どのような調査をするのか。

A 次期総合計画の策定に向けて、京阪奈新線の整備効果、人口フレームの検討等の調査を進める。



つくばエクスプレス

Q J R 下狛駅西広場の 先行取得の展望は

A 今後の計画のなかで検討していく



安宅吉昭議員

Q 学研狛田東地区（京阪電鉄不動産）の開発が来年から造成工事に入る時期を迎えた。J R 下狛駅西広場の予定地は、町道僧坊旭線（自衛隊道路）と旧府道八幡木津線の三叉路交差点を起点とする南北の一定のエリアが候補地となるが、用地確保にどのような見通しがあるのか。本町に財源がないのなら、学研都市京都市地開発公社を活用する土地先行取得はできないか。

A J R 下狛駅西広場の予定地は、今後計画を進めていく中で、位置や必要な範囲を見極めていきたい。必要な土地の取得についても、財源確保に努める中で公社による先行取得もひとつの案として考えていく。

Q 煤谷川改修工事は狛田地区の開発、また防災対策として大きく関わっている。府の事業ではあるが、平成40年とされている上流部までの改修工事完了の見通しは。

A 本町から、府には事業推進と早期完了を強く要望している。



J R 下狛駅西広場予定地付近

Q 避難行動要支援者 登録制度の対応は

A 周知を図っていく



塩井幹雄議員



福祉避難所運営訓練の様子
(社会福祉課より)

Q 避難行動要支援者登録制度の概要は。

A 要介護者や障害者など災害時に避難が難しい方への、円滑、迅速な避難支援などを行う目的の登録制度。登録者の範囲と登録方法は。

A 自動での登録者は要介護認定が3・4・5の方、身体障害の1級、2級の方、精神障害の1級の方である。登録を希望される方は申請書が必要になる。

Q 運用体制は。

A 名簿を自治会、自主防災会、民生児童委員などの避難支援関係者に提供。平時の見守り活動、避難援助計画の作成に役立てる。また消防署、警察署、社会福祉協議会にも配布している。

Q 情報共有に同意しない人への対応は。

A 自治会などの避難支援関係者には氏名を載せていない。毎年、同意が得られるよう同意書を送付している。災害時には、すべての方の名簿を提供する。

Q 今後の課題は。

A 個人情報管理の面から提供を受けない自治会などがある。

Q 中学校への スマホ持ち込みの町の考えは

A 当面、止むを得ない事情以外は原則禁止



内海富久子議員

Q 全国の所有率が6割と年々増加する中で、文科省は中学生の持ち込みに4つの条件付きで容認した。保護者からは賛否両論の意見もあるが、今後の対応は。

A 課題も多く、近隣教育委員会と検討する。

Q 情報モラル教育の充実

A 自身の安全を守るために高度情報化社会を生き抜く力を身につける教育が重要、重点事項とする考えは。

Q ICT教育が進む中、様々な機会に指導している。各校長に徹底する。

Q ワクチン接種の促進

A 国の改訂版ができた第、個別通知する。

Q 受診環境の充実

A パソコンやスマホから受診申請の対応を令和3年に向けて体制を整備する。

Q 男性成人風しん抗体検査・ワクチン接種で40～50代対象者の検査率が低い、対応は。

A 無料クーポンの実施を1年延長、さらに啓発に努める。

Q 接種の判断材料として有用性・安全性などの医学的、科学的知見の情報が重要なため、子宮頸がんワクチンで情報提供に個別通知を。



情報化社会を生きぬく力を育む教育
(文部科学省より)

リモートで「まなび・生かす」

建設産業 常任委員会

研修日

○令和2年8月24日

研修場所

○精華町役場6階

副議長室

研修内容

○丹波篠山市（リモート）

地域公共交通の あり方

多様な手法を活用した地域公共交通について、現在の体制に至るまでの経緯、実績、今後の課題などを学ぶ。本町もくるりんバスの実証運行を見直す時期にきているとの認識から、高齢化が進む中で地域公共交通のあり方を集約し、町政に反映する。

問 現在の体制に至るまでの経緯は。

答 公共交通は、路線バス3社と一般タクシーとJR福知山線であったが、赤字のため路線バス1社が撤退したため、交通空白地帯ができた。そのため、乗合タクシーやコミュニティバスの運行を開始。その後、コミュニティバスの利用が高齢化などで激減した。そのため住民の医療機関への通院や買い物への要望が高まり、ルートの変更や運行の増便、自家用有償旅客運送の導入を行い現在に至る。



研修日

○令和2年8月17日

研修場所

○精華町役場6階

審議会室

講師

○京都府山城南土木事務所長 西村祥一氏

研修内容

府公契約大綱について

公契約大綱とは「公正な競争」、「地域経済

への配慮」、「安心・安全の確保」のバランスがとれた入札契約制度を構築し、公共調達に求められる社会的要請に添えていく必要がある、住民に分かりやすく示すものである。

大綱における公契約の適正化の推進の手法を学ぶ事により、本町のよりよい入札制度を確立していく。

府では、公契約大綱を平成24年5月に制定し、現在まで幾度となく見直しながら運用している。

府の公契約大綱の概要

- コンプライアンス確保
- ダンプ防止対策
- 府内企業への発注
- 地域に貢献する企業の評価
- 元請下請関係の適正化
- 公契約大綱の見直し

議員研修

研修日

○令和2年8月6日

研修場所

○精華町役場6階

審議会室

講師

○龍谷大学政策学部 土山希美枝教授
公共政策論・地方自治・政治学



目的

議会基本条例に基づき研修の充実強化を図る。そのため、学術経験者の助言を含む政策研究の機会を設ける。

○議員のスキルアップを図る。

○個々の心構えから研修を重ね、議員間の温度差を解消する。

○全議員が同じレベルで同じ舞台に立つ。

求める成果

○議員個人の意識改革
○議会集団として、何をすればいいのかの意識向上を図り「議員の政策形成及び立案機能」の向上などを旨とする。

研修計画

「ねらい」と「成果」達成に向け研修は、個人と集団テーマを設定、

5回に分けてシリーズで実施する。

研修シリーズ第1回目

◎テーマ

「質問力を高め、議会力にいかす」

研修内容

政策議会を考えた 一般質問を機能させる

◆一般質問は、議員が、自らの活動と知見を集約し、政策についての問題点を論じ、提案できる機会である。

◆一般質問は、「事実」「分析（言えること）」「主張（言いたいこと）」で構成されている

○「まちをよくする」内容か。
・監査機能、政策提案の機能を持っているか。

るかがポイントである。
まちをよくする質問か
①公表数字の確認だけ
②個別すぎる質問
③合理的な根拠がない
④町が関与できない
⑤政治信条の演説に始終する
⑥執行部へのお礼のこ
とば
——など質問にあさわしくないと指摘がありました。今後、講義内容を理解し、一般質問に頑張っ取り組んでいきます。

質問事項		質問要旨
19番		議会 太郎
◎一般質問を、「まちをよくする」ための争点提起になっているか	1	内容は構造的にとらえていますか。 ○論点は、事実（現状、問題状況を述べているか） 意見（主張は、言いたいことですか） ○論点は、監査（運営や事業を検証、評価してチェック） ・政策提案（改善や廃止を提案）機能をもっているか。
	2	質問内容は情報で固められているか。 ○争点にあわせ集約分析されているか。 ○政策開発に必要な専門的知見といえるか。 ○データとして語らせ、説得力があるか。
	3	伝わるものにするには論点と問題意識が整理されているか。 ○問題意識が、はっきりつたわっているか。 ○町民を意識して議論しているか。 ○話し言葉で議論しているか。
まとめ 「いい一般質問」とは		○「まちをよくする」内容か。 ・監査機能、政策提案の機能を持っているか。 ○論議は「納得するものを引き出すものになっているか」 ・課題を共有と納得に到達する「対話」ができているか。 ※土山教授の講義内容を参考に編集しました。

お知らせ

■次回、令和2年度定例会12月会議は、令和2年12月1日（火）からはじまります。

12月会議に、請願・陳情・要望書の提出をされる方は令和2年11月20日（金）午後5時までに精華町議会事務局（町役場6階）へ提出してください。



あなたも議会を傍聴しませんか。インターネット中継もご覧ください。

◆日程については議会事務局へお問い合わせください。TEL:95-1908 FAX:95-3972 E-mail:gikai@town.seika.lg.jp



議会だより・会議録が「精華町議会」ホームページより検索できます。

<http://www.town.seika.kyoto.jp/gikai/>

●目の不自由な方のため、朗読ボランティア「ひびき」の皆さんが本誌を朗読したテープを、精華町社会福祉協議会事務局（TEL.94-4573）と町立図書館で貸し出しています。

その後を追う

どこまで進んだの!?

議会だより 166 号より
(R元.11.1 発行)



学校トイレ改修はいつになる

その時の答  改修整備、優先整備事項の一つに位置づけ取り組んでいく

その後現在は …… 令和元年度に学校施設長寿命化計画を策定する中で、洋式化を含めたトイレの改修整備を優先事項に位置付け、老朽度合いの高い施設から改修を進める。この計画に基づき、まず精北小学校と山田荘小学校のトイレ改修について、令和2年度に設計を行い、令和3年度には改修工事に着手する計画であり、以降においても、順次計画的な改修整備に取り組んでいく。
(学校教育課)

防災体制が不十分だ

その時の答  研究し改善を重ねる

その後現在は …… 精華町地域防災計画を見直し、効率的な避難ができるよう計画を工夫している。また、各指定避難所などの避難生活においては、復旧・復興を視野に入れた避難所の運営ができるよう、それぞれの地域の特性を生かしたマニュアルを作成している。また、自治会、自主防災会で訓練を行い、マニュアルを更新して防災体制の充実をさらに図っていく。



(危機管理室)

放課後児童クラブ利用料の減免制度の創設を

その時の答  近隣市町村の動向、財源の確保等も含め適切に対応する

その後現在は …… ひとり親世帯や多子世帯等に対する負担軽減方策については、町子ども・子育て会議における意見等を踏まえ、さらに研究を深め、適切に対応していく。
(子育て支援課)

議会アンケート

コロナ禍のもと、予定していました「ぎかい・まちカフェ（議会報告会）」の開催をやむなく中止することとなりました。

みなさまのご意見やご要望をお聞きし、今後の議会運営に生かしていきたいと思います。

つきましては、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお、返送はFAX か回収箱または、メールにアンケート用紙の写真を添付して送っていただきますようお願いいたします。

FAX: 95-3972 回収箱: 庁舎総合案内(2階) メール: gikai@town.seika.lg.jp

1、お住まいと年代をお聞かせください(該当するところに○)

● 小学校区 精北 川西 精華台 東光 山田荘 町外

● 年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

2、議会へのかかわりや関心度について伺います。

(1) 議会の会議を見たことがありますか。 (ある ・ ない)

(2) (1) であると記載された方にお聞きします。どのような方法でご覧になりましたか。
(議会傍聴 ネット中継 ネット録画)

(3) 年4回発行の議会だよりは、ご覧いただいていますか。

(毎回読む 時々読む ほとんど読まない 全く読まない)

(4) 議会のホームページを見たことがありますか。

(よく見る 時々見る 見たことはある 見たことがない)

(5) 議会からの情報発信についての改善点やご意見をお聞かせください。

()

3、議会へのご意見やご要望をお聞かせください。

4、町政へのご意見やご要望をお聞かせください。

提出期限は11月30日です。

～ご協力ありがとうございました～

〒619-0285 精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地

精華町議会(議会事務局) TEL0774-95-1908

切りとって、アンケート用紙としてお使いください。

子どもたちがひとり残らず大切にされるまちに

「多様性を包み込める子ども・子育て支援を」

長期休暇の障害児を支援していた学生ボランティアグループが「NPO法人そら」となって17年が経ち、広く子ども・子育て支援をするようになりました。全体に共通しているのは「ちゃんとしつければ子どもは正しく育つ」とか「みんなと同じようにするのが良いこと」といった信念に悩まされる子どもや家族を少しでもラクにしたいという思いです。

親の言うことをちっとも聞いてくれない子ども。園や学校でみんなと同じようには行動できない子ども。子育ての難しさに心が折れかかっているお母さんお父さん。それぞれが与えられた環境の中で懸命に生きようとしていることを

認め、あらゆる子どもと家族に対して、一人ひとりに合った子ども・子育て支援ができるように「そら」は頑張っています。

私たちが作ってきたのは、子どもや家族が安心できたり、元気になったり、必要なことを学んだり、仲間を増やしたりするための場所です。みんな大切なものですが、それだけでは根本的な悩みは解決されないまま、親子にとっての「避難場所」であり続けてしまうこともあります。親子が生きる「世の中」「地域」のほうは変わってきたでしょうか。

どの子も特別な存在として大切にされるまちづくりへのご協力をよろしくお願いします。



つどいの広場さんりんしゃ

「NPO法人そら」の主な活動

- 😊 つどいの広場「さんりんしゃ」「いろは」
- 😊 発達支援ルームこねっく
発達に気のかかるところがある幼児のためのプログラムと保護者支援をあわせて行う療育機関（児童発達支援）です。
- 😊 Libra（りぶら）
障害のある子どもたちが、それぞれの発達や生活にあった形で放課後を過ごせるように支援する放課後等デイサービスです。
- 😊 知的障害や発達障害のある人の外出支援（移動支援・行動援護事業）



学生と子どもたちの活動（サマースクール）



学びの広場（ひとり親家庭のこどもの居場所）

- 😊 園・学校を休みがちなお子の親の会
園や学校への行きしぶり・不登校で悩んでいる保護者どうしが話せる場を設け、世話人として相談に乗っています（毎月第一月曜日）。
- 😊 ペアレントトレーニング（子育てを学ぶトレーニング）
- 😊 ひとり親家庭のこどもの居場所づくり（週1回）
- 😊 学生ボランティアと子どもたちによる余暇プログラム
- 😊 いろんな子どもと家族のための相談センター など

「そら」に関わるみんなの声

- 🌸 放課後等デイサービス「Libra」の利用がきっかけで姉妹の相談にも乗っていただいております。どんな立場の子どもでも安心して向き合える人が身近にいることの大切さを感じています。子どもたちと社会のより良いつながり方をスタッフのみなさんと考え、一緒に「愉しむ」活動が今後もできたらと思っています。（保護者）
- 🌸 活動をしてよかったのは、一人ひとりの子どもの「楽しい」「できた」とともに感じられることです。そこから「楽しい」や「できた」は一人ひとり違って良いんだ、という多様性を認める考え方が身につきました。（学生ボランティア）
- 🌸 初回のころと比べると本当に気持ちが楽になったな、変わったなと実感できます。何より「うまくいっていない自分」のままで話を聞いて受け止めてくれる人たちがいて、頼りながらもなんとかやっていけばいいんだと思えて、とてもありがたかったです。（ペアレントトレーニング受講者）
- 🌸 保育所への行き渋りや家でのかんしゃくがひどかった子どもが、週1回「こねっく」に通所させてもらっています。先生が子どもとほぼマンツーマンで楽しく遊びながら、子ども本人が困っているところを見つけてくださり、子どもの思考回路を理解するのにすごく役に立っています。施設の老朽化が進んでいるので、もう少しきれいになれば、もっと素晴らしい場所になると思います。（保護者）

◇お問い合わせ先 NPO法人そら 理事長 地主 明広 TEL. 0774-93-3814

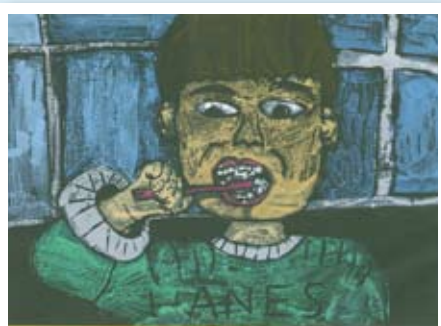
ギャラリー

Gallery Hana

華

山田荘小学校 児童の作品

※1年生以外は、前年度の作品です。



「歯みがきするぼく」

4年 久郷 春樹



「おにのかお」

2年 志賀 柚希



「ロングシュートきめろ!」

3年 植本 大智



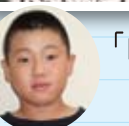
「ぼうけんにでよう」

1年 横田 愛和



「歯みがきするぼく」

4年 西尾仁之介



「自分の表情を表現しよう」

5年 小島 稟瑚



「夢をふくらませて」

6年 中村 菜花

表紙写真

「体験学習」 稲刈り

○撮影日：令和2年10月13日（火）

○撮影場所：東畑荒堀「上西園芸」

○撮影者：広報委員

編集後記

季節は秋から冬へ向かう中、私たちは新型コロナウイルスと戦い続けています。日本国内においても多くの感染者が出ている現況にあり、ワクチンなどの有効治療薬も開発途上であります。わが町も厳しいコロナ禍を乗り越えていくため、議会として更に感染拡大防止策に取り組んでいく決意です。

今後も議会ホームページや議会だよりにより情報発信してまいります。要望やご意見をお待ちしております。